

（山村活性化支援交付金）イノシシの肉・皮を活用した加工品開発と体制づくり

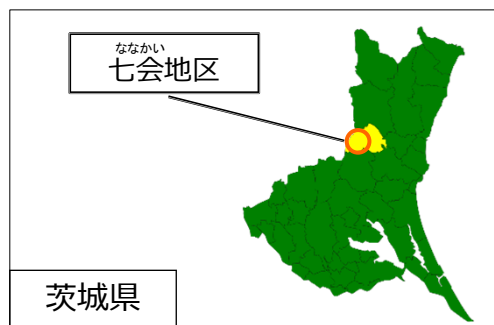
しろさとまち
【茨城県城里町】

取組のポイント

- ◆農作物への獣害対策に伴い捕獲頭数が増加傾向にあるイノシシの資源利用を進めるため、食肉加工商品及び皮加工商品の開発に取り組むとともに、捕獲から加工までの体制づくりを推進。
- ◆地元猟友会に加え、東京農業大学や狩猟免許等を取得した地域おこし協力隊員とも連携し、ワークショップ形式による商品開発や町内施設におけるジビエ料理の試験提供など、地産地消に向けた消費拡大に取り組み。

地区の概要

- ◆ 位置
茨城県城里町



- ◆ 活用した地域資源
イノシシ肉及び皮
- ◆ 事業実施主体
城里町
- ◆ 主な取組団体等
猟友会、地域おこし協力隊、東京農大農山村支援センター
- ◆ 事業実施期間
H29～R1

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ 駆除ではなく利用に主眼を置いた、捕獲・集荷・加工にかかる体制づくりを地域住民とワークショップ形式で検討
- ◆ 解体時に捨てられていたイノシシ皮に着目し、食肉に加えて皮加工商品の開発を実施



【ワークショップ方式で組織体制づくりを検討】



【外部専門家による皮剥ぎ実演講習会】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ 「城里ジビエフェア」を開催し、イノシシ肉料理の試験販売や革製品のクラフト教室による情報発信・消費者の意識調査を実施
- ◆ 食肉加工処理施設を関連事業により整備することにより、町内での一貫した加工体制の構築・雇用創出を目指す（CSF終息後）



【町内施設やキャンプ場におけるPR活動】



【イノシシ皮の革製品（ペンケース、キーパー封筒）】

取組の成果

- ◆ ジビエメニューの開発 8品（生姜焼き、シシ汁、ピザ、BBQ等）※町内施設、キャンプ場等で提供
- ◆ 皮加工商品の開発 10品（財布、ペンケース、ネームケース、名刺入れ、キーパー封筒等）
- ◆ 城里町の地域レザーブランド「サングリエ」の誕生（元地域おこし協力隊員による起業）